

技術研究組合 Lignophenol & Systems

(略称：LIPS, リグノフェノール技術研究組合)の概要

- 設立年月日：平成23年1月7日
- 代表理事：船岡 正光（三重大学名誉教授・地域イノベーション推進機構特任教授）
- 組合員：（3企業2地方自治体）
- 関西化学機械製作（株）、出光ライオンコンポジット(株)、五洋紙工(株)
- 那賀町（徳島県）、名張市（三重県）、台湾塑膠工業股份有限公司
- 事業費：平成29年度5百万円
- 事業の概要：リグニン系新素材、ナノセルロース複合体の実用化研究

○組合設立の目的

リグノフェノール及びセルロース素材に関する試験研究の推進。

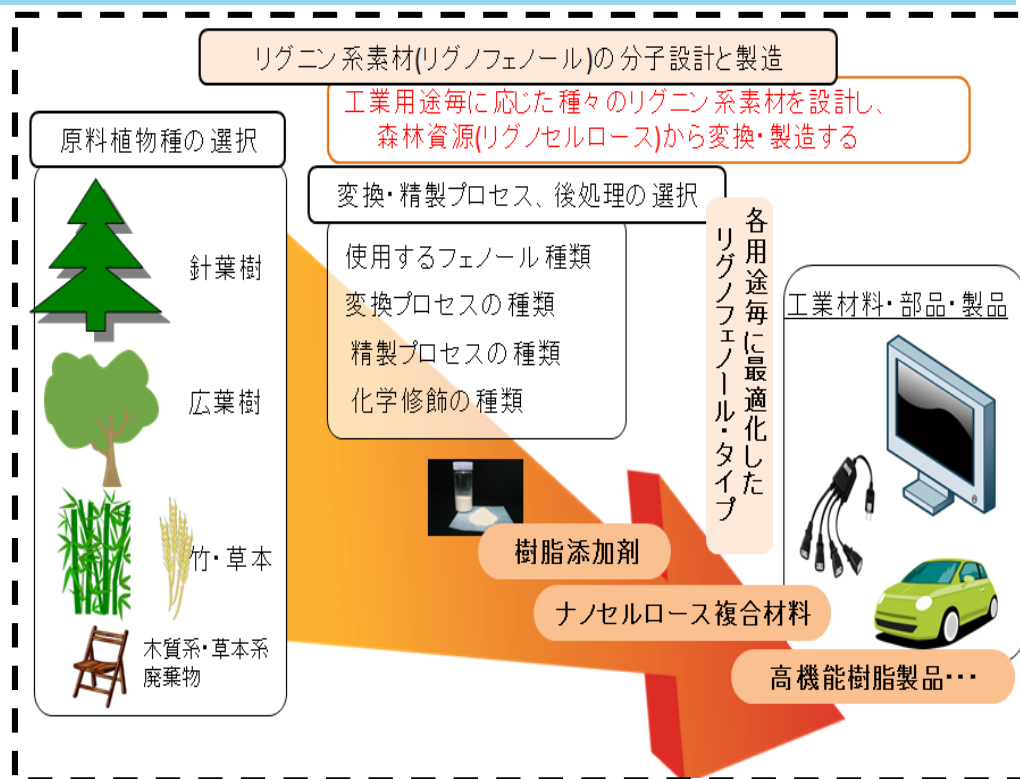
組合員の関連領域の技術水準の向上ならびに実用化・事業化準備。

○実用化の方向性

リグノセルロースを原料として、リグニン系新素材（リグノフェノール、ナノセルロース・リグノフェノール複合体）を製造、ポリオレフィン等への樹脂添加剤等をアプリケーションとして想定。

○事業化の目途の時期

引き続きサンプル品の提供・用途適用性の検討を進め、H29年頃スケールアッププラント稼働、H32年頃商用化プラントの稼働を目指す。



● 研究開発体制

